

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 大東港運株式会社

コード番号 9367 URL <http://www.daito-koun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 曾根 好貞

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 荻野 哲司

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 03-5476-9701

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	11,193	△11.5	257	△62.6	230	△65.0	79	△79.2
21年3月期第3四半期	12,645	—	687	—	657	—	379	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	8.43	—
21年3月期第3四半期	40.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	9,375	2,942	31.4	313.51
21年3月期	9,176	2,905	31.5	307.91

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,942百万円 21年3月期 2,890百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				7.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,600	△8.8	230	△68.2	200	△71.0	30	△92.3	3.20

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	9,389,000株	21年3月期	9,389,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	2,493株	21年3月期	2,493株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	9,386,507株	21年3月期第3四半期	9,386,691株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.業績予想(平成22年1月7日発表)の見直しは行っておりません。業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】の「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各国の景気刺激策による海外経済の持ち直し、在庫調整の進展等に伴い、輸出や生産に緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、円高やデフレによる企業収益の圧迫や雇用環境の悪化による個人消費の低迷は続いており、依然として厳しい経済環境となりました。

物流業界におきましては、輸出入とも本格的な回復の兆しが見えておりません。かかる中で食品の輸入量は水産物、畜産物、野菜・果実が総じて減少いたしました。また鋼材の国内物流取扱いにおいても一部持ち直しの動きが見られたものの、物流量が低水準であったことから、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは輸出入貨物取扱い等の受注獲得に努めたものの、当第 3 四半期における連結売上高は前年同期間比 1 1 . 5 % 減の 1 1 1 億 9 3 百万円となり、連結経常利益は前年同期間比 6 5 . 0 % 減の 2 億 3 0 百万円、連結四半期純利益は前年同期間比 7 9 . 2 % 減の 7 9 百万円となりました。

事業セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

[港湾運送事業および港湾付帯事業]

港湾運送事業は、沿岸荷役料収入および港湾施設使用料収入が減少したため、売上高は前年同期間比 1 2 . 4 % 減の 4 9 億 7 7 百万円となりました。

陸上運送事業は、鋼材のトラック運送料収入が減少したため、売上高は前年同期間比 1 2 . 9 % 減の 2 0 億 4 5 百万円となりました。

倉庫業は、入出庫作業料収入が減少したため、売上高は前年同期間比 1 4 . 7 % 減の 2 1 億 6 6 百万円となりました。

通関業は、輸入申告料収入が減少したため、売上高は前年同期間比 0 . 6 % 減の 1 7 億 3 0 百万円となりました。

この結果、港湾運送事業および港湾付帯事業の売上高は前年同期間比 1 1 . 3 % 減の 1 0 9 億 2 0 百万円となり、営業利益は前年同期間比 3 0 . 6 % 減の 7 億 5 7 百万円となりました。

[その他事業]

その他事業は、構内作業料収入が減少したため、売上高は前年同期間比 1 8 . 6 % 減の 2 億 7 3 百万円となり、営業利益は前年同期間比 7 4 . 8 % 減の 1 8 百万円となりました。

事業セグメント別売上高

区分	前第 3 四半期連結累計期間 自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日		当第 3 四半期連結累計期間 自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日		前年同期間比	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
港湾運送事業及び 港湾付帯事業	12,310,183	97.3	10,920,184	97.6	△1,389,999	△11.3
港湾運送事業	5,683,223	44.9	4,977,956	44.5	△705,267	△12.4
陸上運送事業	2,346,718	18.5	2,045,055	18.3	△301,662	△12.9
倉庫業	2,538,798	20.1	2,166,505	19.3	△372,293	△14.7
通関業	1,741,442	13.8	1,730,666	15.5	△10,775	△0.6
その他事業						
その他事業	335,461	2.7	273,219	2.4	△62,242	△18.6
合計	12,645,645	100.0	11,193,404	100.0	△1,452,241	△11.5

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産は93億75百万円となり、前連結会計年度に比べ1億98百万円増加いたしました。主な要因は受取手形及び営業未収入金が3億27百万円、未収入金（流動資産・その他）が1億76百万円、長期預金が2億円増加した一方、現金及び預金が5億25百万円減少したことによるものであります。

負債は64億33百万円となり、前連結会計年度に比べ1億61百万円増加いたしました。主な要因は支払手形及び営業未払金が1億2百万円、未払費用（流動負債・その他）が1億11百万円、短期及び長期借入金が1億78百万円増加した一方、未払法人税等が1億95百万円、賞与引当金が1億13百万円減少したことによるものであります。

純資産は29億42百万円となり、前連結会計年度に比べ37百万円増加いたしました。主な要因は為替換算調整勘定が12百万円、その他有価証券評価差額金が34百万円増加した一方、少数株主持分が15百万円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は財務活動により1億26百万円増加したものの、営業活動により3億70百万円、投資活動により17億26百万円減少したことから、前連結会計年度末に比較し19億75百万円の減少となり、当第3四半期末には12億95百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動において減少した資金は3億70百万円となりました。

これは税金等調整前四半期純利益金額が1億43百万円となり、非資金項目である減価償却費57百万円、貸倒引当金の増加額80百万円、退職給付引当金の増加額61百万円また、仕入債務の増加額1億95百万円があったものの、売上債権の増加額5億23百万円、法人税等の支払額2億29百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動において減少した資金は17億26百万円となりました。

これは定期預金の払戻による収入15億50百万円があったものの、定期預金の預入による支出30億円、長期預金の預入による支出2億円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動において増加した資金は1億26百万円となりました。

これは長期借入れによる収入7億20百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出5億14百万円、配当金の支払額65百万円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期の当社グループを取り巻く環境は、鋼材の国内物流取扱いにおいては持ち直しの兆しが見られるとはいえ、先行き不透明な状況が続くものと予想されますが、現在のところ平成22年1月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(簡便な会計処理)
該当事項はありません。
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)
該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。
(追加情報)

役員退職慰労引当金

当社は、平成21年6月26日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止および同日までの在任期間に対する退職慰労金を、各取締役それぞれの退任時に支給することを決議いたしました。

これに伴い、役員退職慰労引当金を全額取り崩し、退職慰労金相当額119,525千円を固定負債に「長期未払金」として計上しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,745,355	3,270,869
受取手形及び営業未収入金	2,681,499	2,354,165
たな卸資産	70,464	80,912
前払費用	53,994	40,463
繰延税金資産	51,865	119,370
その他	380,783	128,967
貸倒引当金	△17,403	△24,562
流動資産合計	5,966,559	5,970,185
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	458,757	482,931
機械装置及び運搬具（純額）	13,922	14,785
土地	1,412,637	1,412,637
リース資産（純額）	64,863	39,875
その他（純額）	16,962	14,285
有形固定資産合計	1,967,142	1,964,514
無形固定資産	261,563	226,098
投資その他の資産		
投資有価証券	305,541	254,503
破産更生債権等	155,004	93,369
繰延税金資産	349,717	327,475
長期預金	200,000	—
その他	315,489	432,414
貸倒引当金	△145,169	△91,562
投資その他の資産合計	1,180,582	1,016,199
固定資産合計	3,409,289	3,206,813
資産合計	9,375,849	9,176,998

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,954,202	1,851,354
短期借入金	1,285,000	1,248,309
未払法人税等	5,133	200,950
賞与引当金	112,779	226,078
その他	451,801	307,888
流動負債合計	3,808,916	3,834,580
固定負債		
長期借入金	1,353,994	1,212,494
再評価に係る繰延税金負債	213,666	213,666
退職給付引当金	849,231	787,279
役員退職慰労引当金	1,239	148,152
負ののれん	4,651	7,441
長期末払金	119,525	—
その他	81,899	67,793
固定負債合計	2,624,207	2,436,827
負債合計	6,433,123	6,271,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	625,295	625,295
利益剰余金	1,457,352	1,451,267
自己株式	△909	△909
株主資本合計	2,937,788	2,931,702
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,050	△37,217
土地再評価差額金	3,885	3,885
為替換算調整勘定	4,102	△8,204
評価・換算差額等合計	4,937	△41,536
少数株主持分	—	15,424
純資産合計	2,942,725	2,905,590
負債純資産合計	9,375,849	9,176,998

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第 3 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)
営業収益	12,645,645	11,193,404
営業原価	9,610,318	8,570,354
営業総利益	3,035,327	2,623,049
販売費及び一般管理費	2,347,461	2,365,784
営業利益	687,866	257,265
営業外収益		
受取利息	4,282	6,949
受取配当金	6,503	4,589
受取保険金	1,313	2,588
受取地代家賃	2,433	2,383
負ののれん償却額	2,790	2,790
その他	5,402	3,659
営業外収益合計	22,725	22,960
営業外費用		
支払利息	43,522	38,124
為替差損	6,460	4,106
その他	2,758	7,788
営業外費用合計	52,742	50,018
経常利益	657,849	230,206
特別利益		
固定資産売却益	25	—
投資有価証券売却益	—	550
退職給付引当金戻入額	1,579	—
受取保険金	—	58,335
特別利益合計	1,605	58,885
特別損失		
固定資産除却損	193	3,749
投資有価証券評価損	1,244	—
貸倒引当金繰入額	—	78,761
関係会社整理損	—	58,636
ゴルフ会員権評価損	2,700	4,000
特別損失合計	4,137	145,146
税金等調整前四半期純利益	655,316	143,945
法人税、住民税及び事業税	219,802	40,968
過年度法人税等戻入額	△13,122	—
法人税等調整額	68,621	33,095
法人税等合計	275,301	74,064
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	298	△9,284
四半期純利益	379,716	79,165

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	655,316	143,945
減価償却費	46,990	57,368
負ののれん償却額	△2,790	△2,790
受取保険金	—	△58,335
関係会社整理損	—	58,636
ゴルフ会員権評価損	2,700	4,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	17,155	80,763
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	56,299	61,965
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	17,225	8,446
受取利息及び受取配当金	△10,786	△11,538
支払利息	43,522	38,124
為替差損益 (△は益)	—	4,376
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,244	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△550
有形固定資産売却損益 (△は益)	△25	—
有形固定資産除却損	193	3,749
売上債権の増減額 (△は増加)	△555,931	△523,198
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△28,417	10,448
仕入債務の増減額 (△は減少)	237,245	195,823
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△7,596	23
その他	△2,493	△145,271
小計	469,851	△74,014
利息及び配当金の受取額	10,765	10,043
利息の支払額	△41,846	△38,031
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△322,169	△229,374
役員退職慰労金の支払額	—	△39,342
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,601	△370,718

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△3,000,000
定期預金の払戻による収入	—	1,550,000
長期預金の預入による支出	—	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△1,680	△9,210
有形固定資産の売却による収入	307	445
無形固定資産の取得による支出	△250	△44,940
投資有価証券の取得による支出	△11,503	△5,510
投資有価証券の売却による収入	13	1,356
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△17,322
子会社株式の取得による支出	—	△6,139
貸付けによる支出	△17,400	△17,200
貸付金の回収による収入	18,721	21,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,791	△1,726,616
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	581,070	604,125
短期借入金の返済による支出	△550,000	△604,125
長期借入れによる収入	740,000	720,000
長期借入金の返済による支出	△513,677	△514,500
自己株式の取得による支出	△159	—
リース債務の返済による支出	△4,726	△13,570
配当金の支払額	△65,526	△65,357
財務活動によるキャッシュ・フロー	186,981	126,572
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,731	△4,751
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	276,058	△1,975,513
現金及び現金同等物の期首残高	2,771,450	3,270,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,047,508	1,295,355

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 3 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第 3 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)

	港湾運送事業及び 港湾付帯事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
営 業 収 益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	12,310,183	335,461	12,645,645	—	12,645,645
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	68,065	68,065	(68,065)	—
計	12,310,183	403,527	12,713,710	(68,065)	12,645,645
営業利益	1,091,588	71,512	1,163,101	(475,234)	687,866

(注) 1. 事業区分は、当企業集団における事業別収入区分によっております。

2. 各事業の主な業務

(1) 港湾運送事業及び港湾付帯事業・・・一般港湾運送事業、港湾荷役事業、一般貨物自動車運送事業
運送取次事業、倉庫業、通関業

(2) その他事業・・・海運代理店業、構内作業、港湾関連作業、外航利用運送事業

当第 3 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)

	港湾運送事業及び 港湾付帯事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
営 業 収 益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	10,920,184	273,219	11,193,404	—	11,193,404
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	57,163	57,163	(57,163)	—
計	10,920,184	330,383	11,250,567	(57,163)	11,193,404
営業利益	757,402	18,054	775,456	(518,191)	257,265

(注) 1. 事業区分は、当企業集団における事業別収入区分によっております。

2. 各事業の主な業務

(1) 港湾運送事業及び港湾付帯事業・・・一般港湾運送事業、港湾荷役事業、一般貨物自動車運送事業
運送取次事業、倉庫業、通関業

(2) その他事業・・・海運代理店業、構内作業、港湾関連作業、外航利用運送事業

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの営業収益の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

全セグメントの営業収益の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外営業収益】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外営業収益が連結営業収益の10%未満のため、海外営業収益の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外営業収益が連結営業収益の10%未満のため、海外営業収益の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。